

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

全地域において、高齢化により、認知症高齢者の増加や、独居、老々世帯も増加に加え、自治会や老人会に加入していない世帯も多く、地域からの孤立も問題となっている。各地域見守り体制の整備を進めており、ケアプラザとして情報共有や、様々な情報提供等の支援を行い、地域での見守り体制の整備に地域と共に取り組んでいく。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・住民主体で地域で見守っていく体制作りを構築し、その課題を解決するための役割分担を自治会・ボランティア・民生で検討。個別課題会議⇒民生。資源開発解決会議⇒自治会・ボランティア・民生で会議を開催。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・老老で認知症介護をテーマで、住民とCMでどう支えていくかを検討する
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・個別会議で独居・老々高齢者の検討⇒自治会の関係性構築が出来れば、包括レベル会議 住民の見守り支える
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・今までの事例を積み上げ共有する。 ・各地域の総合相談や支援状況を分析し、地域課題を明確にする。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・生活支援課、子ども・家庭支援課、地域振興課と情報共有できる会議に必要な応じて参加し、地域課題解決に向けて区・区社協と協働して取り組む。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント